

既製コンクリート杭 —基礎構造設計マニュアル— 建築編 正誤表

番号	ページ等	誤	正
1	P3 表-1.1.2 下から1行目 名称欄	分類 使用方法 名称 (上記種類の杭に対応可能)	(節付きPHC杭を除いた 上記種類の杭に対応可能)
2	P3 表-1.1.3	コピタ型PRC杭(CPRC杭) らせん鉄筋	せん断補強筋
3	P4 表-1.1.3	節杭 特徴 $F_c=85, 105\text{N/mm}^2$	$F_c=85, 105, 123\text{N/mm}^2$
4	P4 表-1.1.3の外	※長さは1m間隔である。	※長さは1m(SC杭は0.5m)間隔である。
5	P6 表-1.1.5	No.1 制定または改訂(正)年 月 日 H17.7.21.改定	No.1 制定または改訂(正)年 月 日 H17.7.21. 改定
6	P8 表-1.1.9	及び「降伏点応力度」を表すものとする。	及び 耐力 を表すものとする。
7	P9 表-1.1.12 表の覧外 注釈	告示第1639号(平成13年1月15日) 参照	告示第1639号(平成13年 11 月15日) 参照
8	P19 表-1.2.3	杭頭条件 B: 杭幅	B: 杭径
9	P28 下から3行目	(B: 杭幅)	(B: 杭径)
10	P29 図-1.2.11	(b)設計用水平地盤反力分布	(b)設計用 塑性 水平地盤反力分布
11	P29 図-1.2.11	砂質土地盤中の杭に対する水平地盤反力分布	砂質土地盤中の杭に対する 塑性 水平地盤反力分布
12	P31 表-1.2.5	杭頭固定 短い杭 $l_0=1.5B+1/2(1-1.5B)$	$l_0=1.5B+1/2(l-1.5B)$
13	P31 表題	M_y : 杭体の降伏モーメント	M_y : 杭体の降伏 曲げ モーメント
14	P32 表題	M_y : 杭体の降伏モーメント	M_y : 杭体の降伏 曲げ モーメント
15	P32 表-1.2.6	杭頭自由 短い杭 条件式 $Q_u-3k_p \gamma B l^2 \dots$	$Q_u-3/2k_p \gamma B l^2 \dots$ 数値のずれ
16	P32 表-1.2.6	杭頭自由 短い杭 $Q_u(l+h)-3k_p \gamma B l^2 \dots$	$Q_u(l+h)-3/2k_p \gamma B l^2 \dots$ 数値のずれ
17	P33 式1.2.26	r_n, r_d	γ_n, γ_d ガンマ
18	P33 下から9行目	r_n	γ_n ガンマ
19	P33 下から6行目	α_{\max} :	(cm/s²) 単位の追記
20	P34 上から1行目	r_d	γ_d ガンマ
21	P38 上から12行目	水圧上昇比 r_u	水圧上昇比 γ_u ガンマ

既製コンクリート杭 —基礎構造設計マニュアル— 建築編 正誤表

番号	ページ等	誤	正								
22	P38 式1.2.35	r_u	γ_u ガンマ								
23	P44 上から11行目	$L_n=0.95L_a$	$L_n=0.9L_a$								
24	P45 式1.2.49	γ_e	r_e アール								
25	P45 図-1.2.28	図中の記号が余白	r_e アール								
26	P46 式1.2.51	$P_{FN} =$	$P_{FN_i} =$								
27	P50 表-1.2.10 表下	異形鉄筋(CPRC)	異形鉄筋(CPRC杭)								
28	P58 上から7行目	なおコンクリート製品JPCSにせん断	JPCS(NPOコンクリート製品JIS協議会プレキャストコンクリート製品)にせん断								
29	P59 上から1行目	JPCSで提案されている。	JPCS(NPOコンクリート製品JIS協議会プレキャストコンクリート製品)で提案								
30	P59 上から6行目	$V_u = \dots \times (\tau_1 \times \tau_2 \times \tau_3)$	$V_u = \dots \times (\tau_1 + \tau_2 + \tau_3)$								
31	P59 上から13行目	D:外形(mm)	D:外径(mm)								
32	P59 下から15行目	$\tau_1 = 0.115u \cdot S(\sigma_B + 17.7)$	$\tau_1 = 0.115K_u \cdot K_p(\sigma_B + 17.7)$								
33	P60 下から3行目	τ_3 : 軸力負担(N/mm ²)	τ_3 : 軸力負担分(N/mm ²)								
34	P60 下から1行目	$\tau_3 = 27.4\text{N/mm}^2$	$\tau_3 = 2.79\text{N/mm}^2$								
35	P65 上から3行目	杭径(mm)	300	350	400	450~1000	杭径(mm)	300	350	400	450~1000
		k_y	0.82	0.76	0.73	0.72	有効せいd(mm)	270	320	367.5	400以上
36	P65 下から16行目 ~17行目	$M/Q \cdot d$: 計算上のシアスパン比 ※シアスパン比が2を超えるような場合は2とする。					$M/Q \cdot d$: 計算上のシアスパン比 ※ $M/(Q \times d) < 1$ のとき、 $M/(Q \times d) = 1$ とする。 ※ $2 \leq M/(Q \times d)$ のとき、曲げ破壊が先行するため、 $M/(Q \times d) = 2$ とする。				
		杭径(mm)	300	350	400	450~1000	杭径(mm)	300	350	400	450~1000
37	P66	k_y	0.82	0.76	0.73	0.72	有効せいd(mm)	270	320	367.5	400以上
		k_y	0.82	0.76	0.73	0.72	k_y	0.82	0.76	0.73	0.72
38	P66 下から3行目	$M/Q \cdot d$: 計算上のシアスパン比 ※シアスパン比が2を超えるような場合は2とする。					$M/Q \cdot d$: 計算上のシアスパン比 ※ $M/(Q \times d) < 1$ のとき、 $M/(Q \times d) = 1$ とする。 ※ $2 \leq M/(Q \times d)$ のとき、曲げ破壊が先行するため、 $M/(Q \times d) = 2$ とする。				
39	P177 上から8行目	2構面7スパンラーメン	2構面6スパンラーメン								
40	P181 下から5行目	$P_a = (24-8) \times 294100$	$P_a = (24-8) \times 294100 / 1000$								
41	P182 上から10行目	$\times 294100 \times 36$	$\times 294100 \times 10^{-6} \times 36$								

既製コンクリート杭 —基礎構造設計マニュアル— 建築編 正誤表

番号	ページ等	誤	正
42	P182 下から10行目	$tPa=(4.0+8.0) \cdot 294100=3529kN$	$\cdot 294100/1000=$
43	P182 下から8行目	$tPa=(2.0+4.0) \cdot 355300=2131kN$	$\cdot 355300/1000=$
44	P184 表-8	曲げモーメント M	杭頭曲げモーメント M_o
45	P189 表-15中	曲げモーメント M	杭頭曲げモーメント M_o
46	P194 下から9行目	杭径 ϕ 800のN \rightarrow=61.6 \rightarrow 60	*換算N値を使用
47	P201 下から7行目	M/Qd	$M/Q \cdot d$
48	P202 下より3行目	表-1に使用杭の一覧を示す。	表-1に使用杭一覧, 表-2に杭の許容応力度, 表-3にCPRC,PHCの断面諸元を示す。
49	P202 最下段	図-1 土質柱状図	図-1 土質柱状図および杭設置図
50	P203 最上段	図-2 設計用軸力	図-2 設計用軸力一覧
51	P204 最上段	表-3 CPRC, PHCの断面諸元表	表-3 CPRC, PHCの断面諸元
52	P204 上から5行目	地盤から定まる	地盤から 求 まる
53	P205 下から3行目	$(24-5.5) \times 167000=3100600N \doteq 3100kN$	$(24-5.5) \times 167600=3100600N \doteq 3100kN$
54	P210 下から5行目	i) 軸力負担部分	i) 軸力負担分
55	P211 下から4行目	らせん筋の降伏点応力度	らせん筋の降伏応力度
56	P211 下から3行目	$M/Q \cdot d$:計算上のシアスパン比 ただし , $M/Q \cdot d > 2$ の場合は2とする。	$M/Q \cdot d$:計算上のシアスパン比 ※ $M/(Q \times d) < 1$ のとき, $M/(Q \times d)=1$ とする。 ※ $2 \leq M/(Q \times d)$ のとき, 曲げ破壊が先行するため, $M/(Q \times d)=2$ とする。
57	P215 上から9行目	$=1190700N \doteq 11900kN$	$=11907000N \doteq 11900kN$
58	P215 下から9行目	終局引き抜き抵抗力ともに	終局引き抜き抵抗力は 共に
59	P221 上から5行目	液状化はしないものと判定される。	液状化発生の可能性はないものと判定される。
60	P221 24 他	F1	F_{ℓ}
61	P224 上から2行目	$I=2.53 \times 10^{-3}$	$I=2.54 \times 10^{-3}$

既製コンクリート杭 ー基礎構造設計マニュアルー 建築編 正誤表

番号	ページ等	誤	正
62	P224 上から3行目	$\beta = \dots\dots / (4 \times 4.0 \times 10^7 \times 2.57 \times 10^{-3})$	$2.57 \Rightarrow 2.54$
63	P224 上から4行目	$= 0.36/m$	$= 0.36/m^{-1}$
64	P224 上から10行目	$f_d :$	$f_b :$
65	P224 下から5行目	$I = 2.57 \times 10^{-3} \text{ m}$	$I = 2.54 \times 10^{-3} \text{ m}$